

第2学年 学級活動学習指導案

<場所> 2年2組教室

<授業者> 新井 良子

1. 単元名 「みのまわりの“もったいない”を考えよう」

2. 単元の目標

ほしいと思うものが必要かどうか考えることで、ものやお金を大切にすることを持つことができる。

日常に使っているものの価値に気づき、ものに感謝することを持って最後まで大切に使うことができる。

給食の残量について学習することで、食材や作って下さる方々に感謝の気持ちを持って、残さず食べるための目標を持つことができる。

ものを整理整頓することも、ものを大切にすることにつながることをわかる。

3. 単元設定の理由

昨年度から金銭教育について研究を進めていることもあり、「ものやお金を大切にすること」という言葉は子どもたちや保護者の中にも浸透してきているように感じる。短い鉛筆にキャップをつけて使う子はたくさんいる。また、「消しゴムがない。」と言って、見つかるまで探す子や、それを手伝って探してあげる子もいる。

しかし、「ものを大切にすること」内容が、「短い鉛筆」や「落とし物さがし」から広がっていないのも実態である。個人差はあるが、筆箱や消しゴムが次々に新しいものになる子が何人かいる。消しゴムをむやみに使って練り消しを作って遊ぶ子もいる。また、給食も好き嫌いがあり、毎日のように残してしまう子もいる。時間がない、体がだるいなどの理由で、本当は食べられるのに残してしまう子も少なくない。

こうした実態をふまえ、言葉では簡単に「ものを大切にすること」と言えるが、具体的な行動としてどうすることが大切にすることになるのか、身の回りの生活を見直して、様々な方法や視点を持たせたいと思い、この単元を設定した。

4. 金銭教育とのかかわり【金銭教育 めざす子どもの姿 3 - 】

食事は食べ物の命をいただくことであるから、むやみに残すことは命を粗末にすることになる。給食を作るのに使われているお金やたくさんの人の手間、世界には食べたくても食べられない人達がいることを知り、残したらもったいないということを理解させ、残さず食べようという個人目標を決めたい。

5. 単元指導計画

| 時 | ねらい | 学習活動 |
|--------------|---|---|
| 1 (道徳) | 欲しいものでも、買うべきものかどうかよく考えて、必要でないものならがまんすることが大事だということに気づき、ものやお金を大切にしようとする心情を育てる。 | <p><資料名>「わたしも ほしいなあ」</p> <p>友達が持っているものを見て、自分も欲しくなった経験を発表しあう。</p> <p>「わたしも ほしいなあ」を読んで話し合う。</p> <p>欲しいものと必要なものの違いを考え、今までの自分を振り返る。</p> |
| 2 (道徳) | 鉛筆は長い年月を経た木を使ってできていることを知り、ものの価値に気づくとともに、ものに対する感謝の気持ち、大切にしようとする心情を育てる。 | <p><資料名>「えんぴつは なんさい」</p> <p>教室の落とし物を見て感想を発表しあう。</p> <p>「えんぴつは なんさい」を読んで話し合う。</p> <p>ものを大切にしたりした経験、できなかった経験を話し合い、今までの自分を振り返る。</p> |
| 3 (学活) 本時 | 食事を残さず食べることは、食材を無駄にしないために大切なことだとわかり、給食を残さず食べようとする目標を持つことができる。 | <p>「給食の時間のめあてを考えよう」</p> <p>給食を残さず食べている子や、どうしても食べられない子の理由や気持ちを聞き、話し合う。</p> <p>なぜ残さずに食べることがよいのか、知っていることを出し合う。</p> <p>栄養・健康面と、食材を大切にすることから学習する。</p> <p>個人目標を立てる。</p> |
| 4 (道徳) | 整理整頓をすることは、使いたい時にすぐに使える気持ち良さだけでなく、ものを大切にしようという態度であることに気づき、進んで整理整頓をしようとする心情を育てる。 | <p><資料名>「トランプ」</p> <p>片付けが悪くて、困った経験を発表しあう。</p> <p>「トランプ」を読んで話し合う。</p> <p>登場人物と自分を比べて、今までの自分を振り返る。</p> |
| 冬休み | お年玉の使い方、遊び道具などの片付け方など、冬休みの生活に生かす。 | |

6. 本時のねらい

食事を残さず食べることは、食材を無駄にしないために大切なことだとわかり、給食を残さず食べようとする自分に実践可能な具体目標を決めることができる。

7. 評価規準

「もったいない」という視点から、給食を残さないようにするための具体目標を決める。

8. 本時の展開

| | 学 習 活 動 | 指 導 ・ 援 助 |
|--------|--|---|
| 課題をつかむ | <p>残菜のデータを見て思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残すともったいない。 | <p>自分たちの残菜データや写真を資料として準備する。</p> |
| 深める | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>いつも食べている給食で「もったいない」と言わないようにするための、給食の時間のめあてを考えよう。</p> </div> <p>なぜ残すと「もったいない」と思うのか、理由を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料をかうのに、お金がかかっているから。 ・ 給食センターの人が、一生懸命作ってくれているから。 ・ 世界には食べたくても食べられない人がいるから。 | <p>給食にかかるお金</p> <p>< 材料費、光熱費、設備費、人件費など ></p> <p>給食ができるまでにかかる人の手</p> <p>< 食材を作ったり捕ったりする人 運ぶ人 給食を作る人 ></p> <p>食べたくても食べられない人達がいること</p> <p>< 給食センターの資料 ></p> |
| 確かめる | <p>給食を残さず食べている子や、どうしても食べられない子の理由や気持ちを聞き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バランス良く食べないと病気になる。 ・ 本当は嫌いだけど、がんばって食べているものもある。 ・ どうしても食べられない野菜がある。 ・ しゃべっていて時間がなくなり食べられないことがある。 <p>これからどのように給食を食べたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手なものに少しでも挑戦したい。 ・ おしゃべりしていて食べられないことがないようにする。 ・ がんばっている友達を応援したい。 <p>個人めあてを立てる。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の最後5分間は、しゃべらず食べるようにする。 ・ 苦手なものでも半分以上は食べて、食べ物を無駄にしないようにがんばる。 <p>個人めあてを交流する。</p> <p>本時の目標について価値付ける。</p> | <p>食べたくても食べられない人達がいること</p> <p>いつも食べる子、いつも残す子、というレッテルをはずして、喜びや抱えているつらさを理解し合えるようにする。</p> <p>具体的な方法が出せるように援助する。</p> <p>< 時間、数、量などの数値で目標を設定できるようにする ></p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ワークシートの評価の視点</p> <p>設定しためあてが「もったいない」という視点で、実践可能な手立てになっている。</p> </div> <p>苦手なものがある子や時間がなくなってしまいうちに、意図的に指名できるよう心がける。</p> |